

平成 21 年 3 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社 グローバルアクト
代表者名 代表取締役 倉本 勝正
(コード番号 7428 東証第 2 部)
問合せ先 常務取締役 山本 大介
(TEL . 03 - 3563 - 0832)

特別損失の計上及び平成 21 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 3 月期において、特別損失を計上することとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 20 年 10 月 30 日付で公表しました業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1 . 特別損失の発生及びその内容

(1)閉店損失引当金	43 百万円
(2)減損損失	111 百万円
(3)その他	11 百万円
合計	165 百万円

- (1)平成 21 年 5 月までに予定されている 5 店舗の閉鎖にともない発生する見込み額を計上しております。
- (2)出店予定店舗が出店中止となったことによる設備の減損及び所有不動産の評価減であります。
- (3)撤退 2 店舗に係る設備除却損であります。

2. 通期業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,871	210	280	3
今回発表予想 (B)	8,562	42	68	276
増減額 (B-A)	308	168	212	273
増減率 (%)	3.5	79.9	75.7	
前期通期実績(平成20年3月期)	8,327	119	151	77

3. 修正の理由

前回業績予想公表以降の急速な世界景気後退に伴い、国内においても一層の経済状況の悪化が進んでまいりました。また、外食業界においては、国内景気低迷により個人消費が冷え込み、外食への支出を抑える動きが見られ、当社の経営を取り巻く環境は深刻さを深めました。

(1) 売上高の見直し

同業他社との競争が熾烈になる中、当社におきましては、既存店舗のブラッシュアップを行い、「選択と集中」を進め、業績の向上に努めてまいりました。そのため、大幅な店舗ポートフォリオの見直しを推進し、不採算店舗の閉鎖を行ってまいりました。

その影響に加え、個人消費の低迷から売上高の減少が顕著となり、その結果として売上高は前回予想の8,871百万円を308百万円下回り、8,562百万円となる見通しであります。

(2) 利益の見直し

このような状況下で、営業利益につきましては、販売管理費の見直し等経費削減により収益確保に努めたものの、予想以上の個人消費の落ち込みによる売上高の減少に加え、原材料費や光熱費の上昇が収益を圧迫し、個店ベースの収益確保に苦慮した結果、前回予想210百万円のところ42百万円となりました。また、経常利益につきましては、営業利益の下振れに加え、急激な円高影響による為替差損等の計上により前回予想280百万円のところ68百万円となりました。当期純利益につきましては前回予想3百万円のところ、店舗閉鎖による特別損失の計上を主要因として、276百万円となる見通しであります。

（注）上記の業績の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成した見通しであり、実際の業績は、今後の経済状況の変化及び様々な要因により、記載の予想値とは異なる可能性があります。

以上